

授業科目名： 政治学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 宮崎 文彦 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「法律学、政治学」 ・「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>「政治」と聞くと、私たちは、政治家や官僚といった「専門家」の仕事として、日常からは遠いものとして考えてしまいがちである。しかし、本来、政治というものは、さまざまな価値観をもった人々の利害を調整したり、「公共的な問題」を解決したりする、私たちにあってなくてはならないものである。</p> <p>本講義では、古代ギリシア・ローマから綿綿と続く政治理論の知見を学びながら、現代の私たちにとっての政治の意義や重要性を学ぶ。</p>			
授業の概要			
テキストに沿って、学修を進める。			
授業計画			
<p>第1回：「政治」とは何か？ 私たちにとっての意味は？ 第2回：「公」と「私」 政治が対象としているものはなにか（第6章1「公」と「私」） 第3回：ナショナリズムとコスモポリタニズム 国際化のなかでの国家のあり方、私たちのアイデンティティ（第6章3「ナショナリズムとコスモポリタニズム」） 第4回：国際関係 国民国家と国際社会のあり方（第7章2「主権国家システムの形成と拡大」） 第5回：国際制度 国連の歴史とこれから（第14章3「グローバル・ガバナンスと国際制度」） 第6回：デモクラシー（1）デモクラシーの起源（第18章1「古代の民主政と近代の民主政」） 第7回：デモクラシー（2）近・現代におけるデモクラシーと大衆化（第18章2「近代における自由民主主義体制の成立」） 第8回：デモクラシー（3）現代のデモクラシー論（第18章3「現代民主主義論」） 第9回：デモクラシー（4）選挙制度（第22章1・2「投票」「選挙制度」） 第10回：デモクラシー（5）メディアと世論への影響（第21章2「マスメディアの世論への影響」） 第11回：自由と自由主義（1）「自由」とは何か？（第3章1・2「古典的自由主義」「古典的自由主義の展開」） 第12回：自由と自由主義（2）現代における自由主義理論（第3章3「福祉国家型自由主義とその批判」） 第13回：福祉国家論（1）福祉国家の成立と「自助・公助・共助」（第4章1・2「福祉国家の政策レパートリー」「福祉国家をもたらしたもの」） 第14回：福祉国家論（2）これからの福祉国家や年金制度のあり方（第4章3「福祉国家がもたらしたもの」） 第15回：総括 私たちと政治、政治にどうかかわっていくか（第22章3「政治参加の多様化」）</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
テキスト			
久米郁男ほか 編（2011）『政治学 補訂版（New Liberal Arts Selection）』有斐閣、978-4-641-05377-9			
参考書・参考資料等			
<p>（1）藤井浩司・縣公一郎 編（2007）『コレク行政学』成文堂、978-4792332303 （2）刈部直ほか 編（2011）『政治学をつかむ』有斐閣、978-4-641-17715-4 （3）杉田敦（2013）『政治的思考』岩波書店、978-4004314028</p>			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			